

景気動向調査結果

(令和6年7月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 6 年 7 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 6 年 8 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、453 社（製造業 230 社（うちヒアリング 64 社）、非製造業 223 社）で、回答率は 64.7 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2925）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2957）

令和6年7月の景気動向

1 総論

長野県経済は、エネルギー・原材料価格高騰等の影響により依然として厳しい状況が続いているものの、一部で持ち直しの動きがみられます。

製造業の業況は、自動車関連の受注、生産に増加がみられるものの、全体では継続するエネルギー・原材料価格高騰等により収益率に低下がみられるとともに、中国経済の減速の影響等により電機・電子や機械などで受注、生産に弱さがみられ、9期連続でマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、宿泊業でインバウンド需要、国内需要ともに堅調であることからプラス水準を維持しているものの、全体では原材料価格の高騰や賃上げ等に伴う経費の増加に加え、消費者の節約志向等も影響し、3期連続のマイナス水準となりました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（令和5年7月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 24.1$ となり、前回調査時（令和6年4月）の $\Delta 23.5$ から0.6ポイント悪化しました。

3か月前（令和6年4月）と比較したD Iは $\Delta 9.3$ となり、前回調査時の $\Delta 10.4$ より1.1ポイント改善しましたが、11期連続のマイナス水準となりました。

3か月後（令和6年10月）の予想では、D Iは $\Delta 4.9$ となり、10期連続のマイナス水準となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産に増加がみられます。プリンターは、受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連は、EVを中心とした自動車関連向けでは、受注、生産が堅調に推移し、スマートフォン、PC向けでは需要に持ち直しの動きがみられます。抵抗器・コンデンサ等は、情報通信向け、産業用機械向けで受注、生産が弱含んでいる一方で、自動車関連向けの一部では、半導体不足解消等を背景に、受注、生産に持ち直しがみられます。モーター等では、航空機向けで、航空機需要の回復により、受注、生産が堅調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は、中国経済の減速の影響等により、全体的に受注、生産が弱含んでいる一方で、半導体向けは、堅調に推移しています。建設機械は、海外向けの受注が好調であることから、生産、販売が堅調に推移しています。

ウ 精密では、時計は、国内向けでは、インバウンドの回復等による需要の増加に伴い、受注、生産が好調に推移する一方で、海外向けでは、円安を追い風に販売が堅調であるものの、原材料価格高騰の影響を受け、一部で受注、生産に足踏みがみられます。レンズは、自動車関連向けでは受注、生産が堅調に推移しています。映像関連向けでは、需要の増加により一部で受注、生産に回復がみられます。圧力計は、半導体関連を中心に、受注、生産に一服感がみられます。LPガスメーターは、ガス用IoT関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

エ 自動車部品では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響が限定的であったこと等から、受注、生産に増加が見られます。

オ 味そは、原材料価格の高騰により、収益率の低下がみられます。酒類は、国内市場の縮小に伴い、受注、生産が弱含んでいます。飲料は、季節的要因により、受注、生産が増加しています。

(2) 受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が22.4%と前回(23.0%)より減少し、「減少」とする企業が39.5%と前回(46.1%)より減少した結果、D Iは前回(△23.1)より改善し、△17.1となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が23.5%と前回(21.4%)より増加し、「減少」とする企業が24.3%と前回(24.0%)より増加した結果、D Iは前回(△2.6)より改善し、△0.8となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業は11.6%、「減少」とする企業が21.3%となった結果、D Iは△9.7となりました。

(3) 生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が20.4%と前回(23.6%)より減少し、「減少」とする企業が43.4%と前回(46.7%)より減少した結果、D Iは前回(△23.1)とほぼ同じ△23.0となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が19.2%と前回(19.7%)より減少し、「減少」とする企業が28.1%と前回(28.9%)より減少した結果、D Iは前回(△9.2)より改善し、△8.9となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業18.9%、「減少」とする企業が19.4%となった結果、D Iは△0.5となりました。

(4) 製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が48.9%と前回(46.1%)より増加し、「安い」とする企業が3.5%と前回(7.0%)より減少した結果、D Iは前回(39.1)より改善し、45.4となりました。

3ヵ月前との比較では、「高い」とする企業が20.7%と前回(22.0%)より減少し、「安い」とする企業が2.2%と前回(1.3%)より増加した結果、D Iは前回(20.7)より悪化し、18.5となりました。

3ヵ月後の予想については、「高い」とする企業が19.5%、「安い」とする企業が2.2%となった結果、D Iは17.3となりました。

(5) 資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が8.6%と前回(8.5%)より増加し、「苦しい」とする企業が15.3%と前回(21.0%)より減少した結果、D Iは前回(△12.5)より改善し、△6.7となりました。

3ヵ月前との比較では、「らく」とする企業が5.5%と前回(7.2%)より減少し、「苦しい」とする企業が8.6%と前回(13.0%)より減少した結果、D Iは前回(△5.8)より改善し、△3.1となりました。

3ヵ月後の予想については、「らく」とする企業が3.7%、「苦しい」とする企業が12.4%となった結果、D Iは△8.7となりました。

(6) 収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が19.2%と前回(18.3%)より増加し、「低下」とする企業が39.7%と前回(43.5%)より減少した結果、D Iは前回(△25.2)より改善し、△20.5となりました。

3ヵ月前との比較では、「上昇」とする企業が11.9%と前回(11.4%)より増加し、「低下」とする企業が24.8%と前回(27.6%)より減少した結果、D Iは前回(△16.2)より改善し、△12.9となりました。

3ヵ月後の予想については、「上昇」とする企業が6.6%、「低下」とする企業が19.9%となった結果、D Iは△13.3となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産が増加がみられます。プリンターは、受注、生産が堅調に推移しています。

(半導体関連・プリント基板) 半導体関連は、EVを中心とした自動車関連向けでは、受注、生産が堅調に推移し、スマートフォン、PC向けでは需要に持ち直しの動きがみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) 抵抗器・コンデンサ等は、情報通信向け、産業用機械向けで受注、生産が弱含んでいる一方で、自動車関連向けの一部では、半導体不足解消等を背景に、受注、生産に持ち直しがみられます。

(モーター等) 産業用ロボット向けは、中国での需要減少の影響等により、受注、生産に弱さがみられます。航空機向けは、航空機需要の回復により、受注、生産が堅調に推移しています。

(その他) 車載部品は、一部自動車メーカーの工場再開により、持ち直しがみられます。

一般機械

(工作機械) 工作機械は、中国経済の減速の影響等により、全体的に受注、生産が弱含んでいる一方で、半導体向けは、堅調に推移しています。

(金型) 金型は、自動車関連向けで一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響が限定的であったこと等により、持ち直しがみられます。

(建設機械) 建設機械は、海外向けの受注が好調であることから、生産、販売が堅調に推移しています。

(農業用機械等) 農業用機械等は、国内向けで、コスト高騰に伴う機械購入の需要減少等により、低調に推移しています。

精 密

(時 計)

時計は、国内向けでは、インバウンドの回復等による需要の増加に伴い、受注、生産が好調に推移する一方で、海外向けでは、円安を追い風に販売が堅調であるものの、原材料価格高騰の影響を受け、一部で受注、生産に足踏みがみられます。

(レ ン ズ)

レンズは、自動車関連向けでは受注、生産が堅調に推移しています。映像関連向けでは、需要の増加により一部で受注、生産に回復がみられます。

(計 器)

圧力計は、半導体関連を中心に、受注、生産に一服感がみられます。LPガスマーターは、ガス用IoT関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

自動車部品

自動車部品では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響が限定的であったこと等から、受注、生産に増加が見られます。

食 料 品

(味 そ)

味そは、原材料価格の高騰により、収益率の低下がみられます。

(酒 類)

酒類は、国内市場の縮小に伴い、受注、生産が弱含んでいます。

(飲 料)

飲料は、季節的要因により、受注、生産が増加しています。

繊維・衣服

繊維・衣服は、季節的要因により、受注、生産が減少しています。

紙 ・ パルプ

ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が増加しています。

印 刷

印刷は、印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（令和5年7月）と比較したD Iは $\Delta 16.7$ となり、前回調査時（令和6年4月）の $\Delta 11.1$ より5.6ポイント悪化し、3期連続のマイナス水準となりました。

3か月前（令和6年4月）と比較したD Iは $\Delta 14.4$ となり、前回調査時の $\Delta 0.5$ より13.9ポイント悪化し、4期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（令和6年10月）の予想では、D Iは $\Delta 17.1$ となりました。

〔主な業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、民間工事の減少や人材不足等による受注件数D Iの悪化に加え、資材価格や人件費等の高騰により収益率D Iも悪化したことから、業況D Iは $\Delta 45.4$ と前回（ $\Delta 34.8$ ）より悪化し、2期連続の悪化となりました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 30.3$ です。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、新規受注案件の減少によって受注件数D Iが悪化しましたが、製品等への価格転嫁や外注費等の経費削減により収益率D Iが改善したことから、業況D Iはマイナス水準であるものの $\Delta 12.5$ と前回（ $\Delta 16.7$ ）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 12.5$ です。

ウ 小売業

小売業では、消費者の買い控え等により客数D Iはマイナス水準が続いており、人件費や仕入価格の高騰により収益率D Iは悪化したことから、業況D Iは $\Delta 15.1$ と前回（ $\Delta 15.5$ ）に続き、マイナス水準です。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 23.0$ です。

エ 卸売業

卸売業では、飲食業や宿泊業での底堅い需要により取引先数D Iが改善しましたが、建設業や小売業の落ち込みから売上高D Iが悪化したことにより、業況D Iは $\Delta 15.0$ と前回（ $\Delta 10.0$ ）より悪化し、3期連続のマイナス水準となりました。

オ 飲食業

飲食業では、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う消費意欲の回復、客数の増加が見られた前年同期と比較すると、物価高による消費者の節約志向等によって売上高D I、客数D Iがともに悪化しており、加えて仕入価格や人件費等の高騰により収益率D Iも悪化していることから、業況D Iは $\Delta 14.3$ と前回（ 22.7 ）よりも悪化しました。

3か月後の業況D Iは、 19.0 です。

カ 宿泊業

宿泊業では、インバウンド需要、国内需要ともに堅調で客数D I、売上高D Iともにプラス水準を維持しましたが、人件費等の高騰によって収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは28.6とプラス水準ながら前回（72.7）より悪化しました。

3か月後の業況D Iは、14.3です。

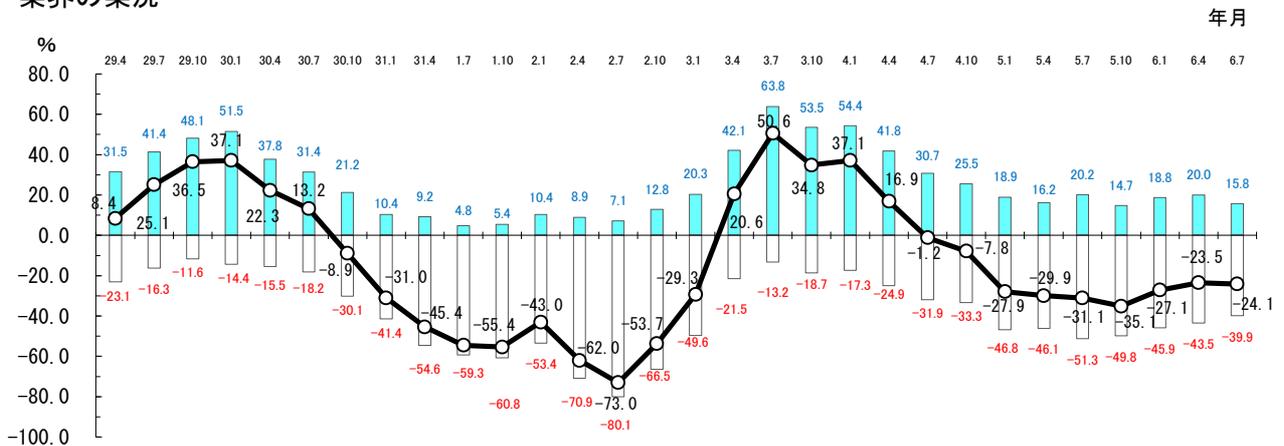
景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

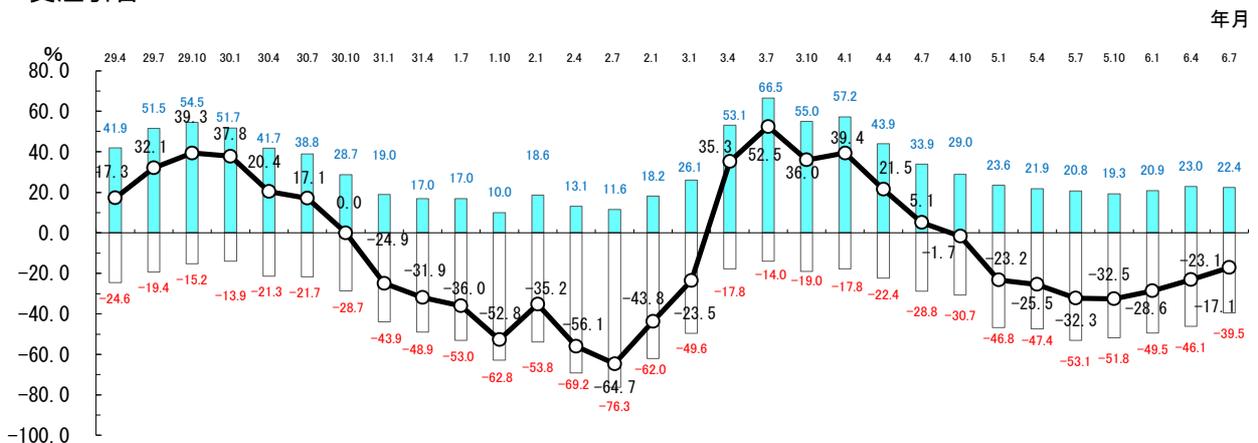
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

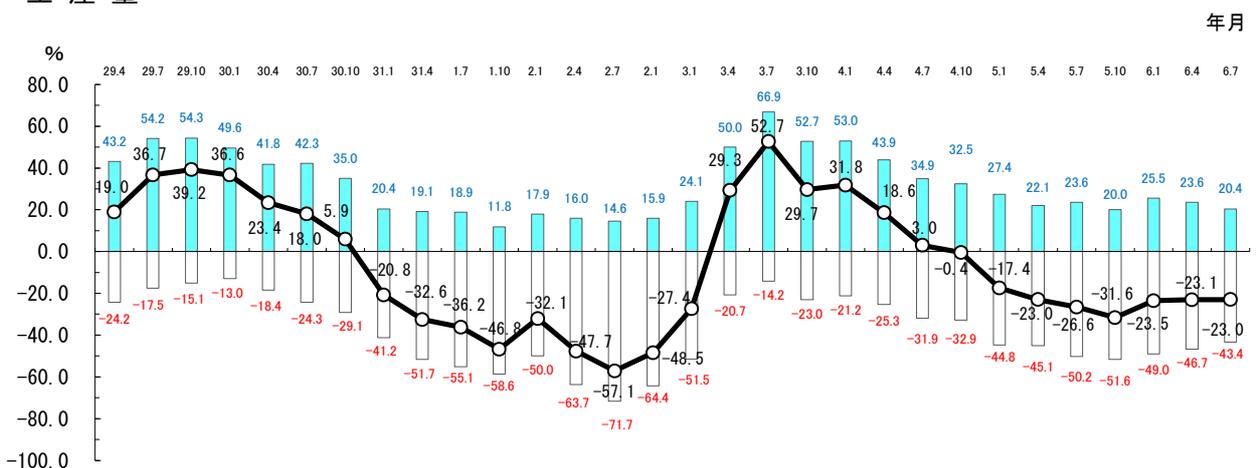
業界の業況



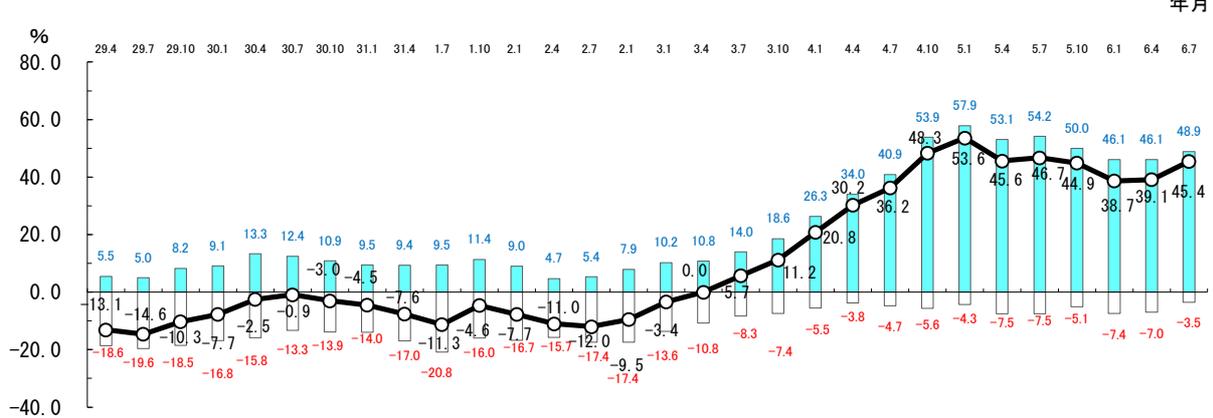
受注引合



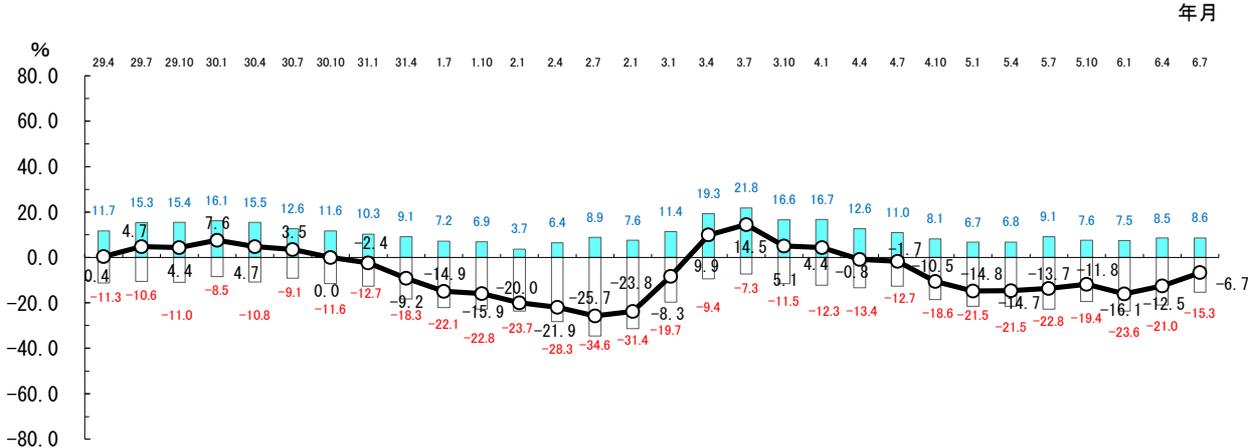
生産量



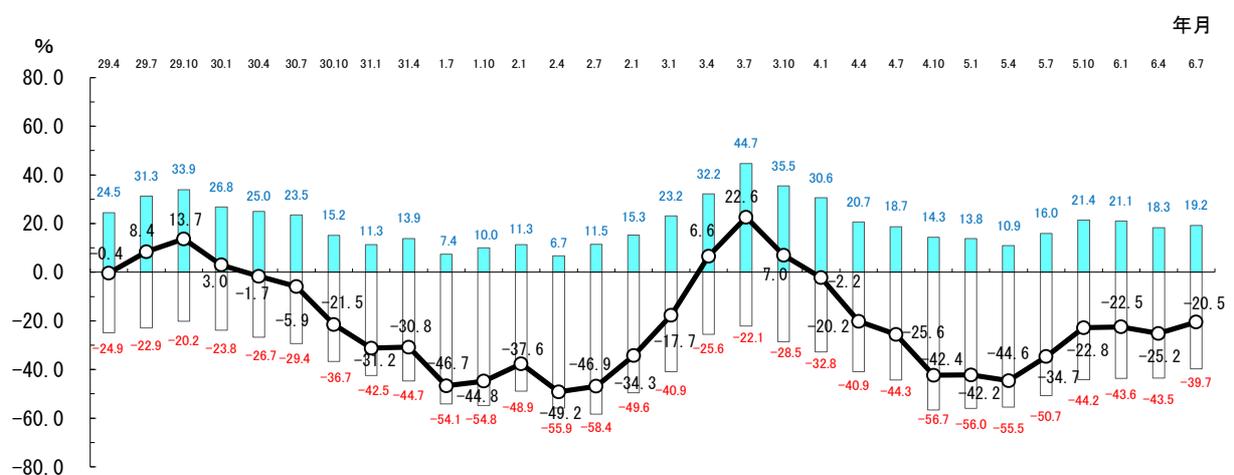
製品販売価格



資金繰り

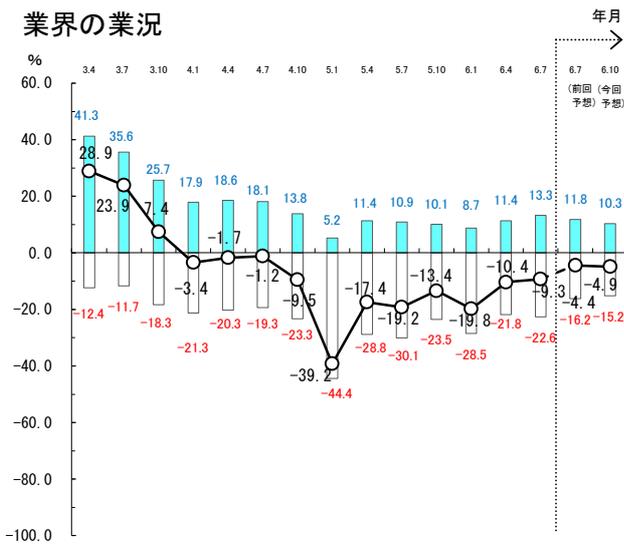


収益率

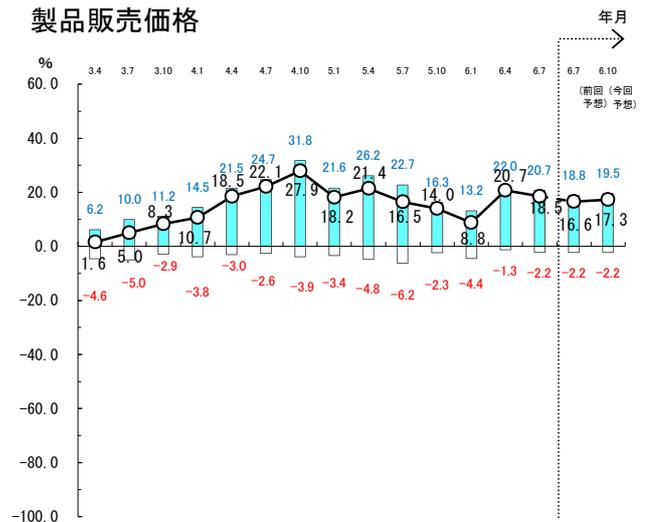


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

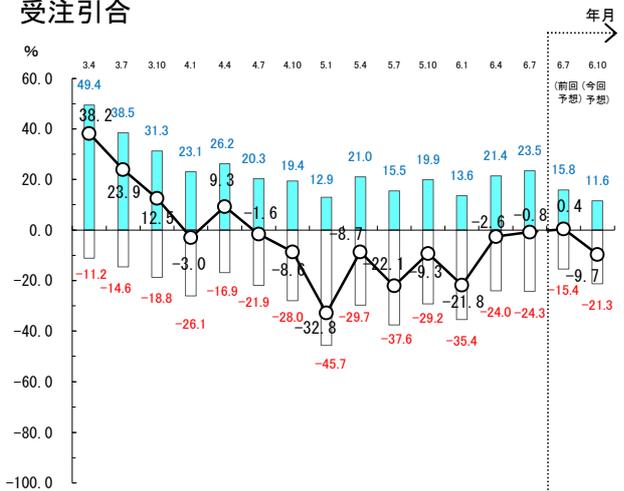
業界の業況



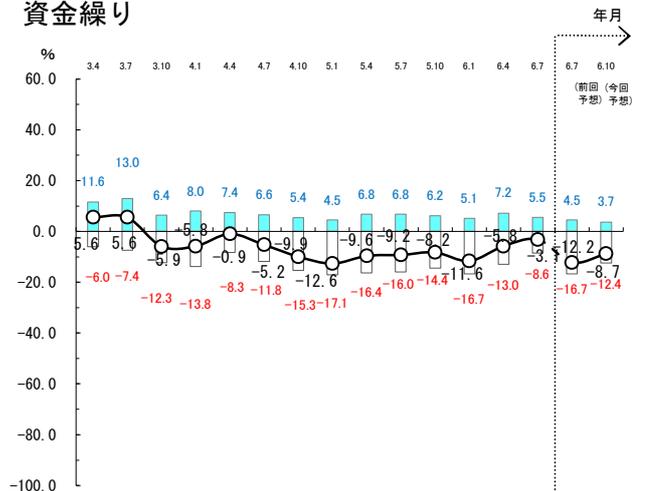
製品販売価格



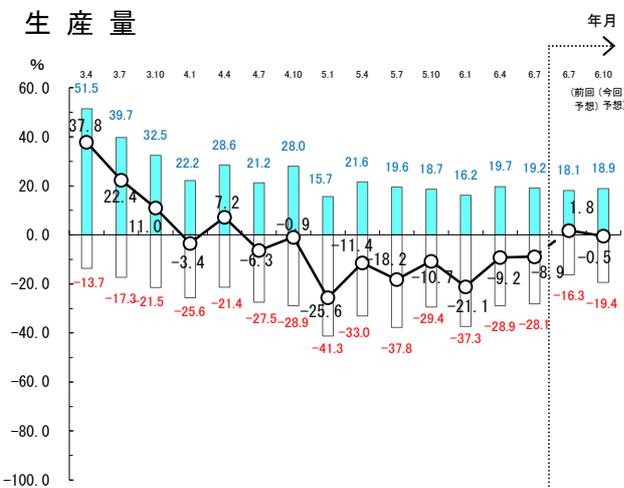
受注引合



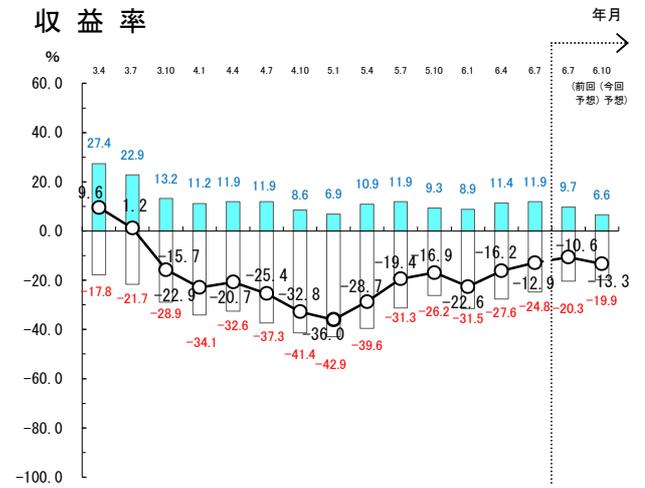
資金繰り



生産量



収益率

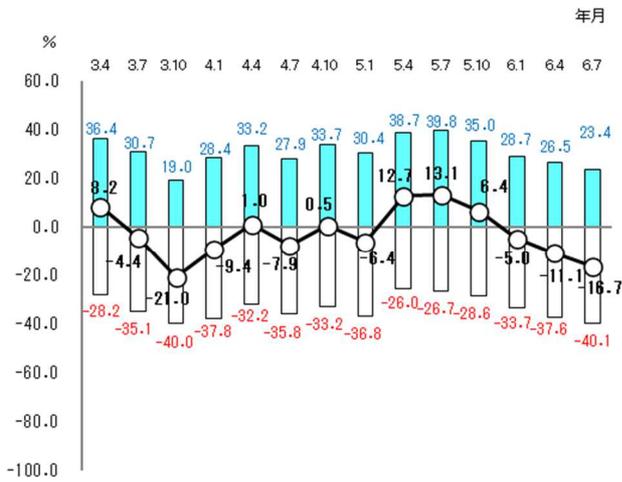


2 非製造業

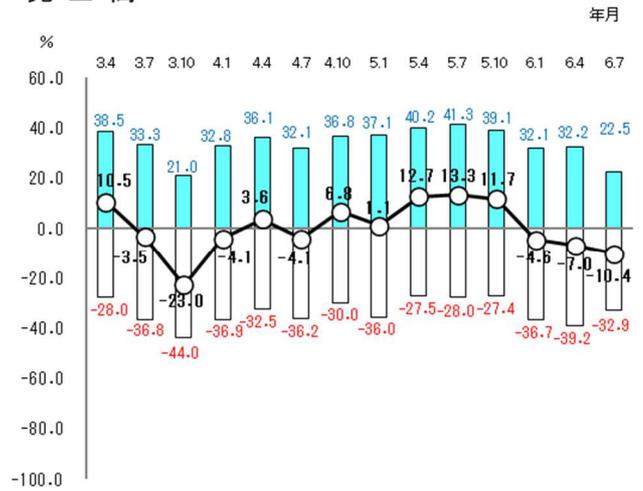
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

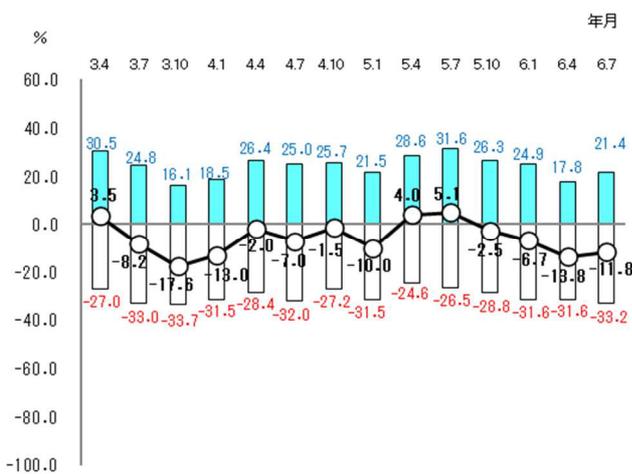
業況



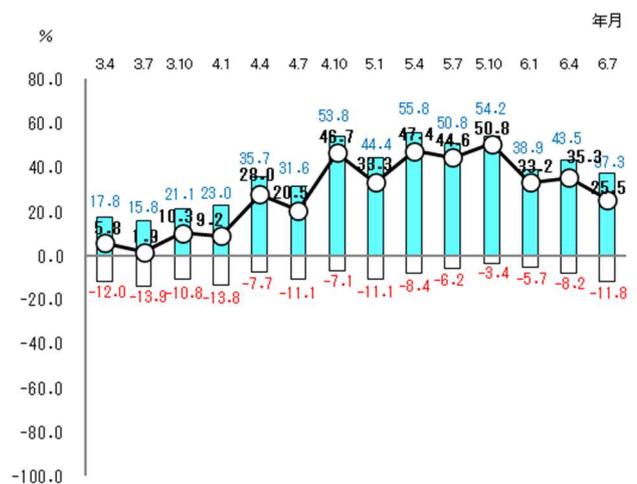
売上高



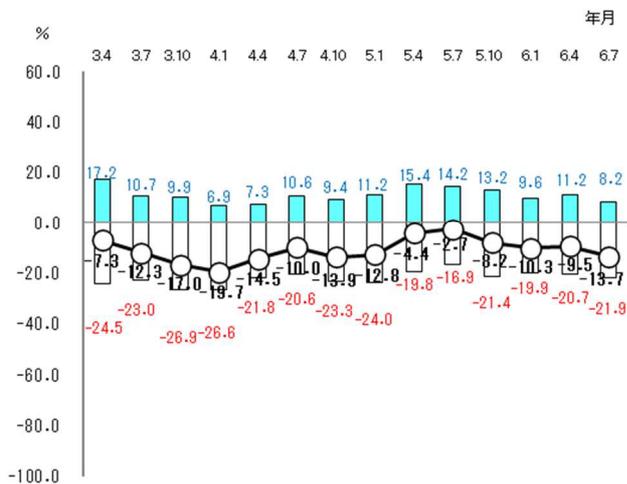
客数 (受注件数・取引先数)



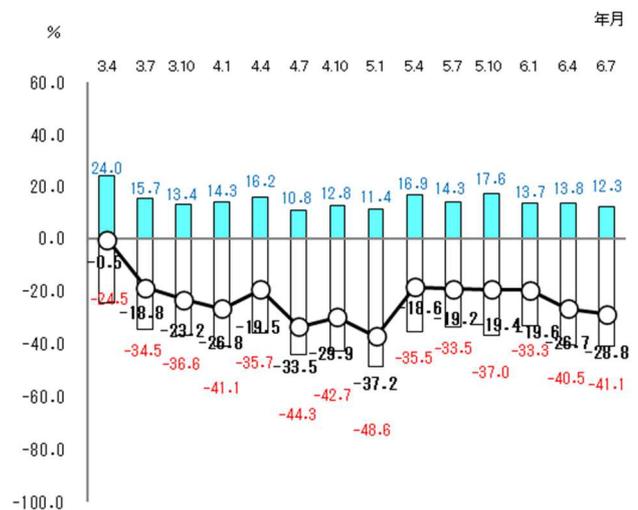
販売価格



資金繰り

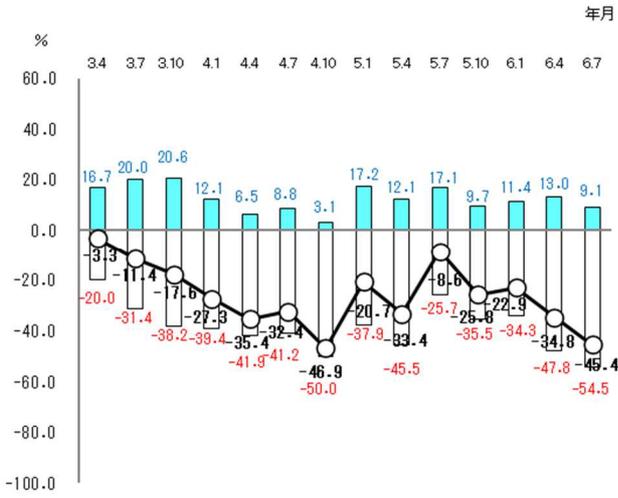


収益率

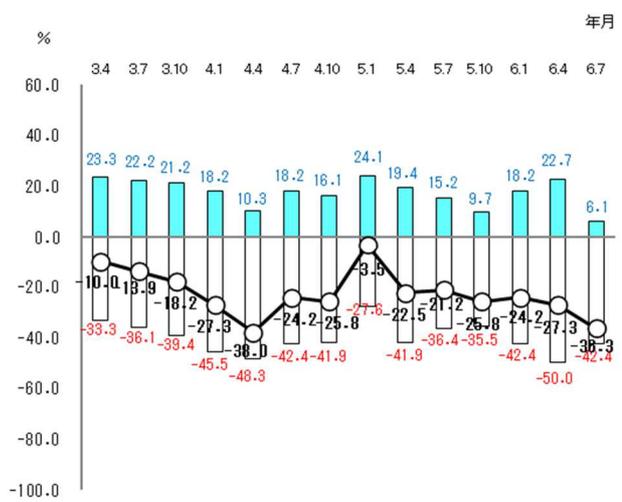


ア 建設業

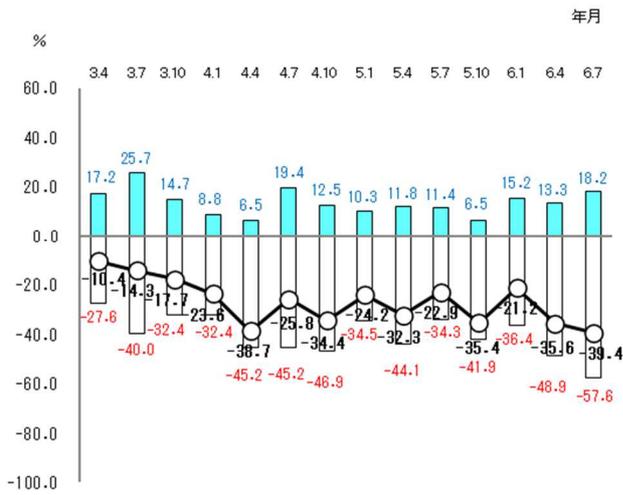
業況



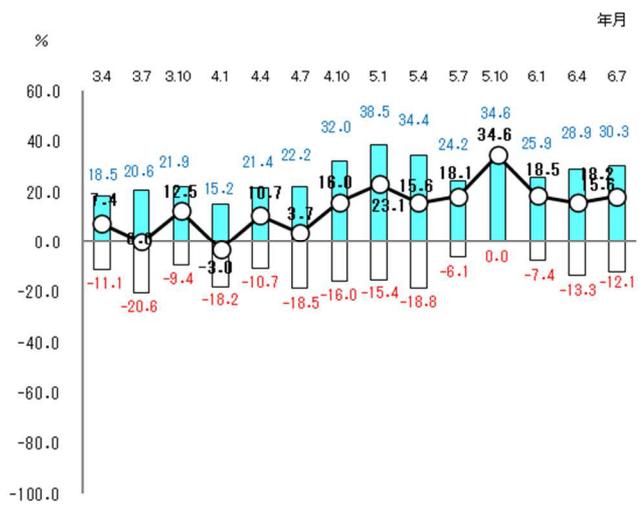
売上高



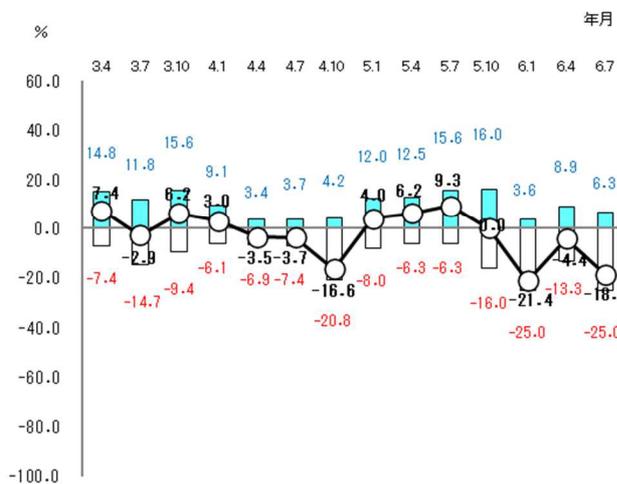
客数 (受注件数)



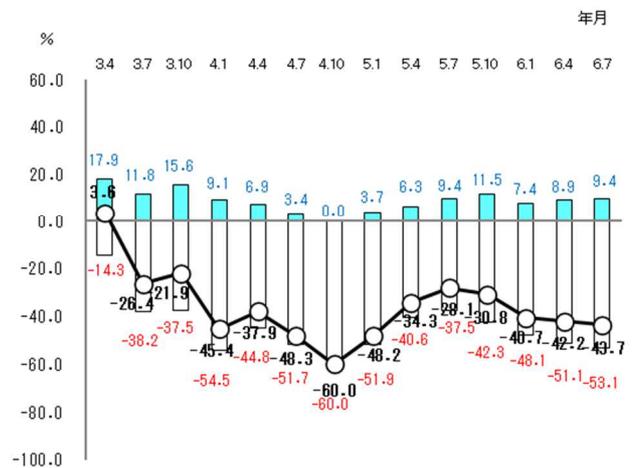
販売価格



資金繰り

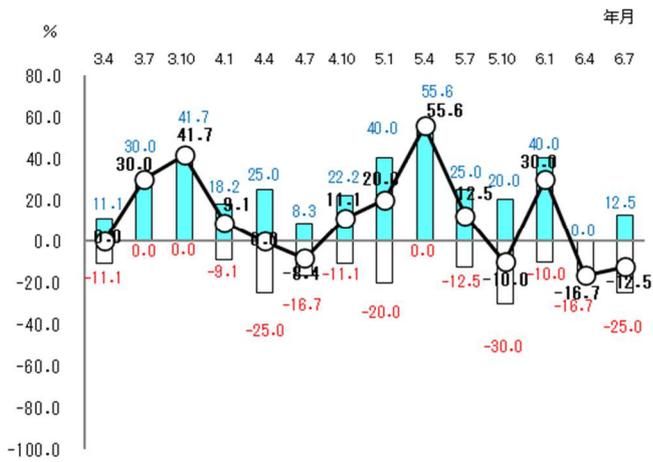


収益率

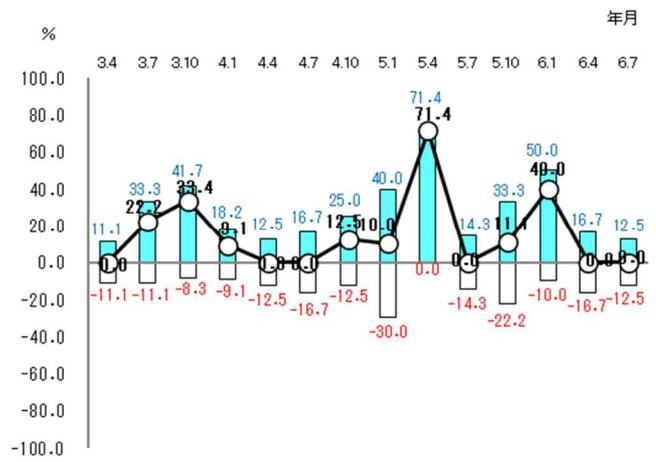


イ 情報サービス業

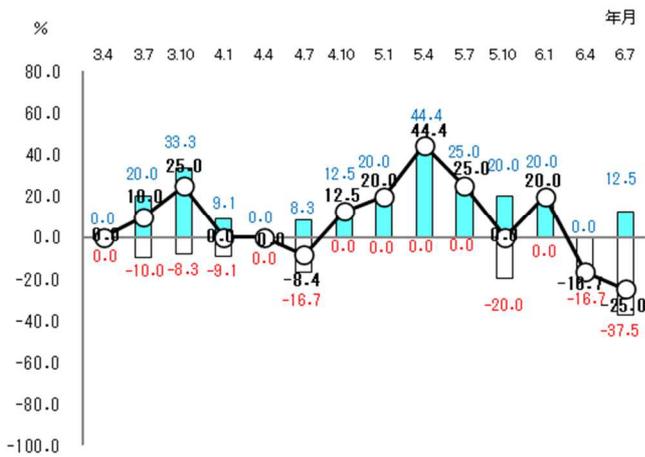
業況



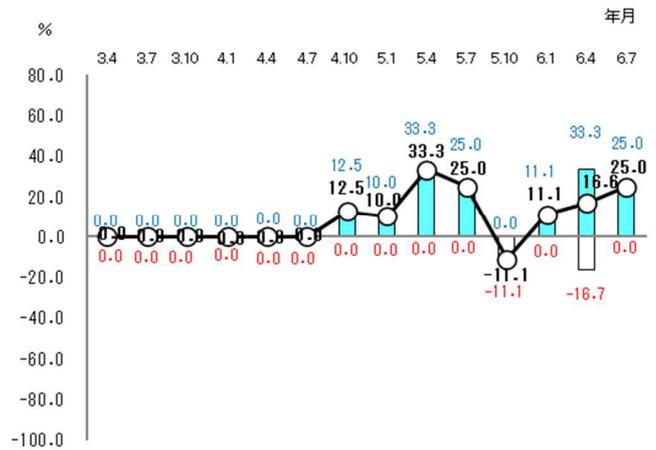
売上高



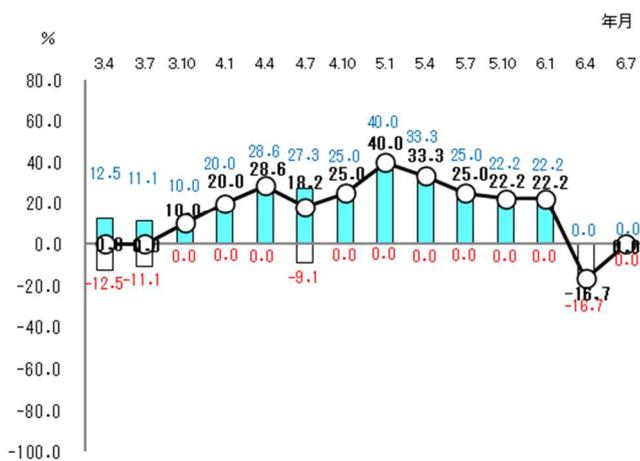
客数 (受注件数)



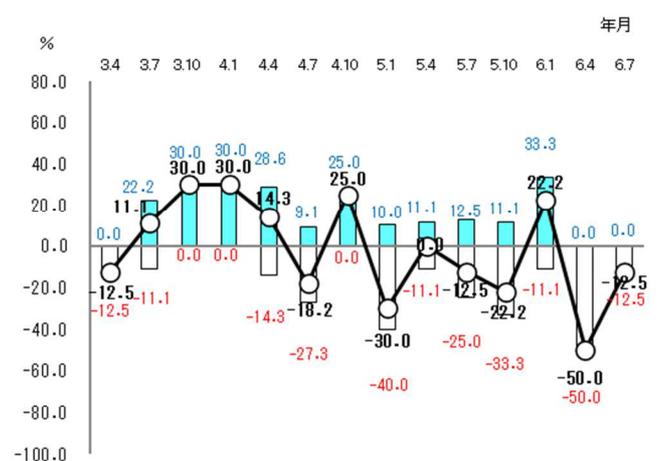
販売価格



資金繰り

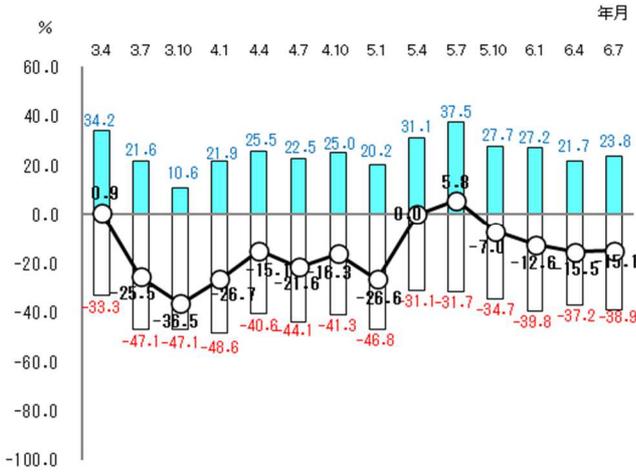


収益率

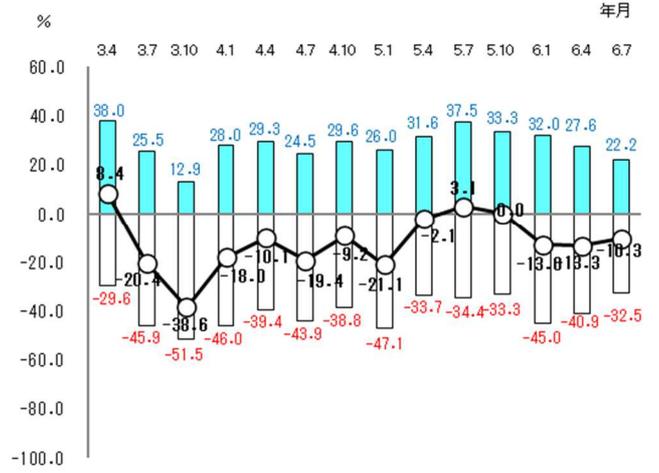


ウ 小売業

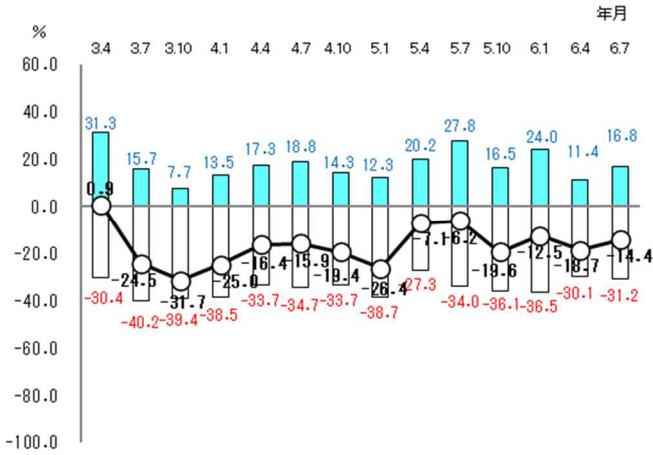
業況



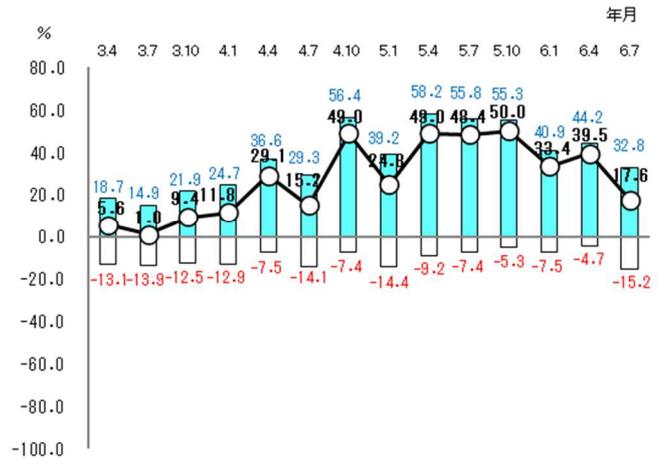
売上高



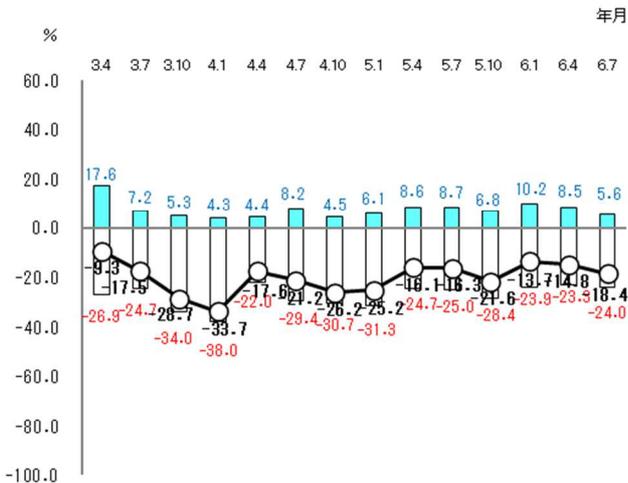
客数



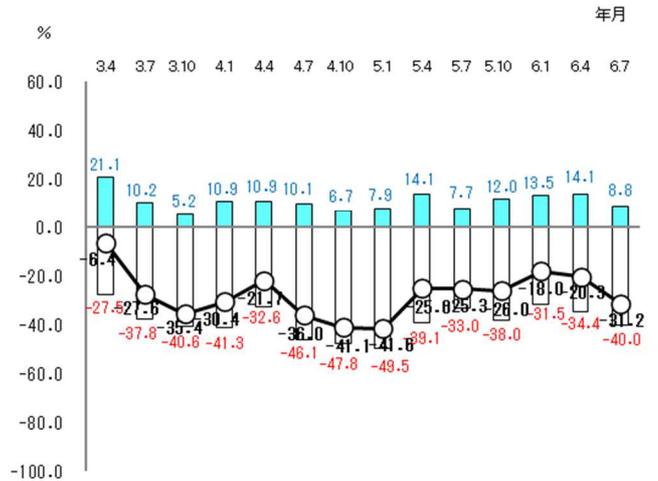
販売価格



資金繰り

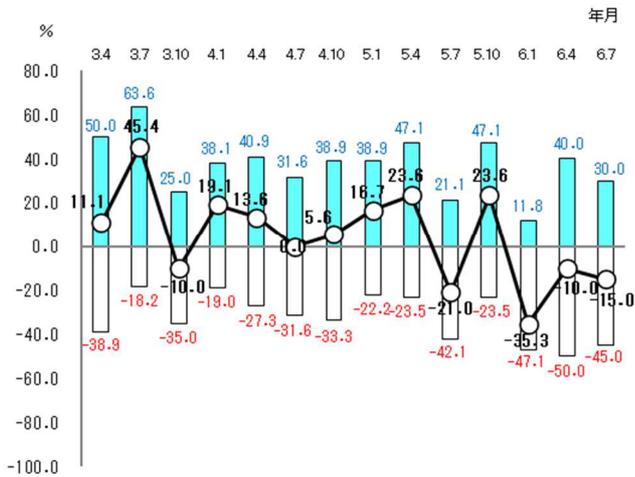


収益率

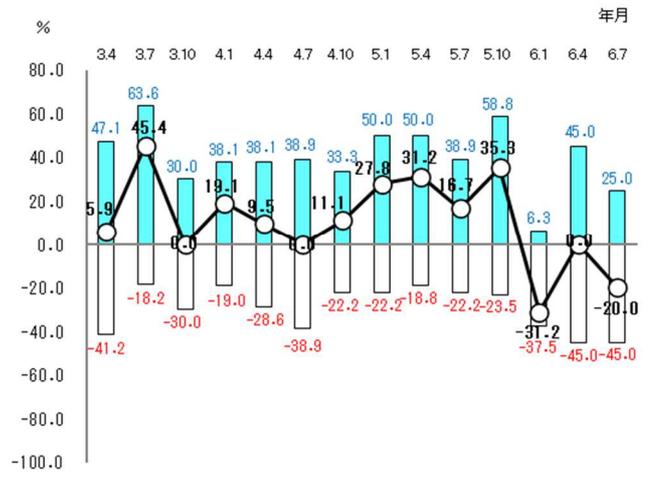


工 卸売業

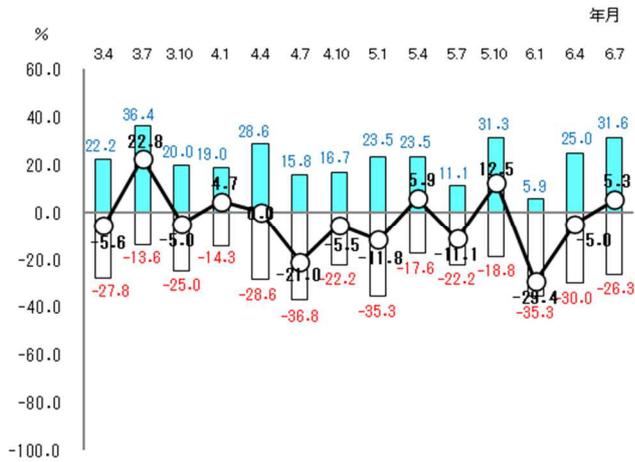
業況



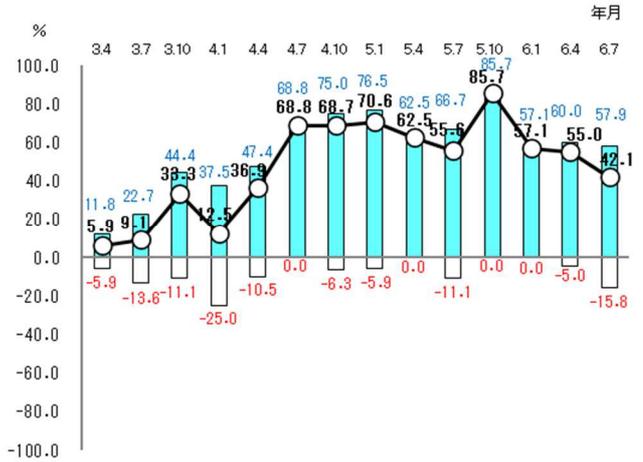
売上高



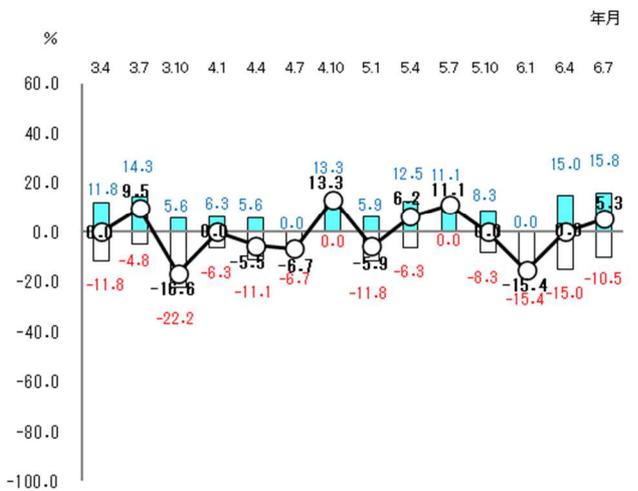
客数 (取引先数)



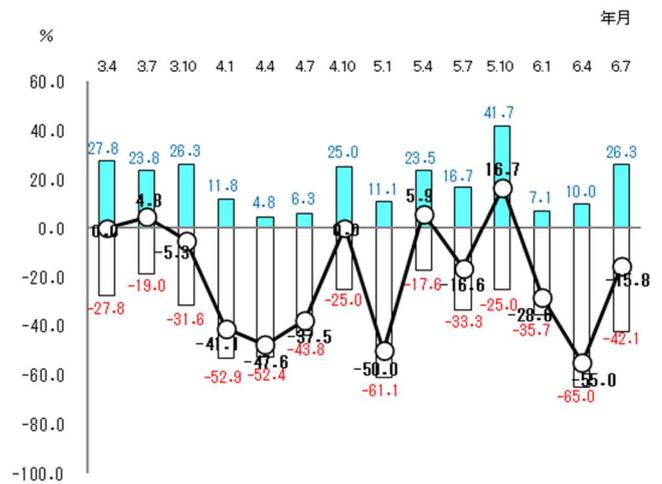
販売価格



資金繰り

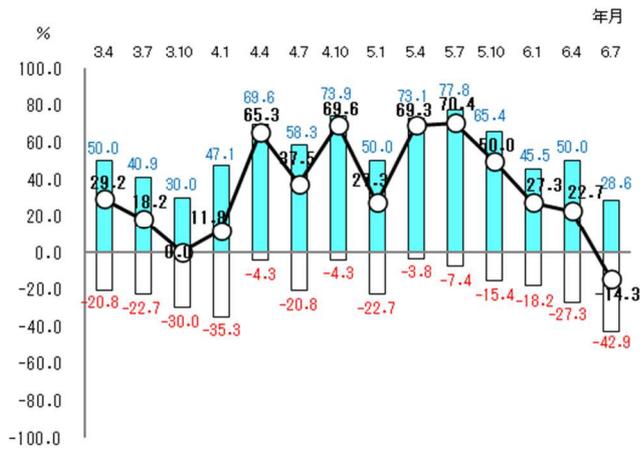


収益率

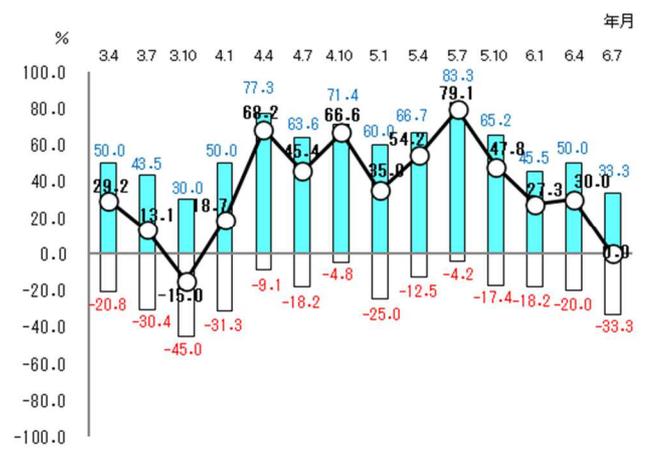


才 飲食業

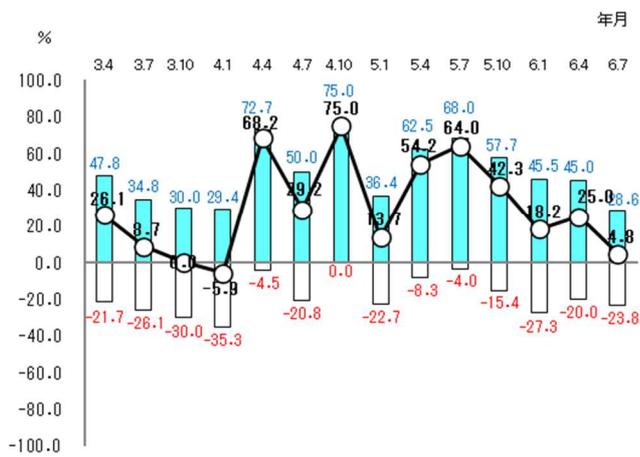
業況



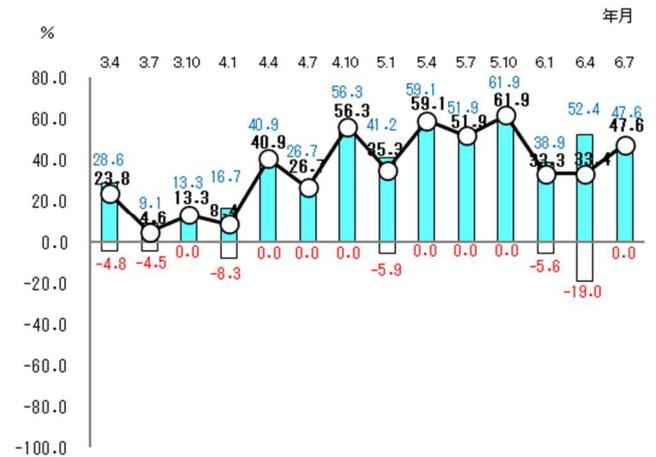
売上高



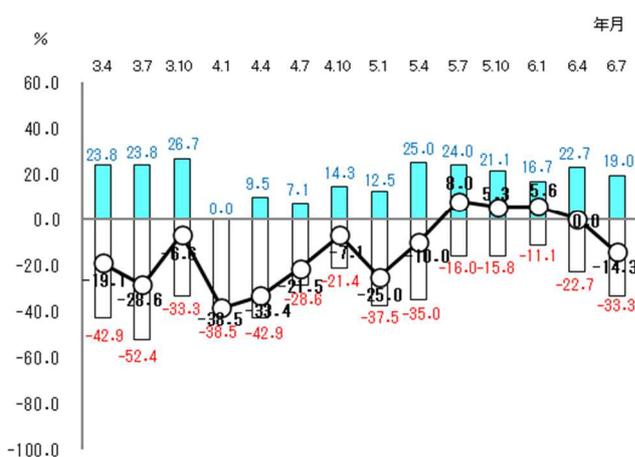
客数



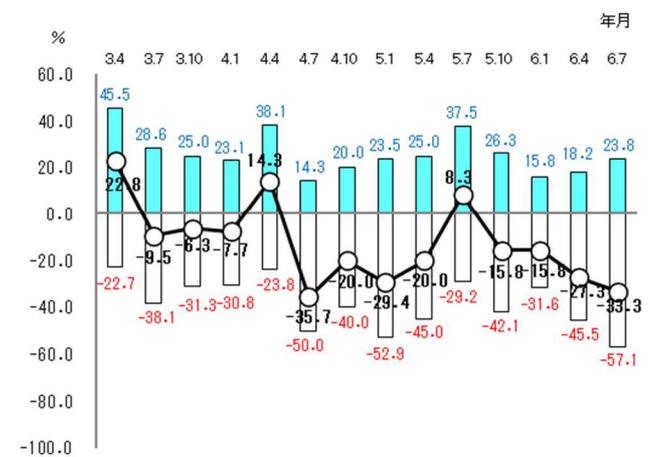
販売価格



資金繰り

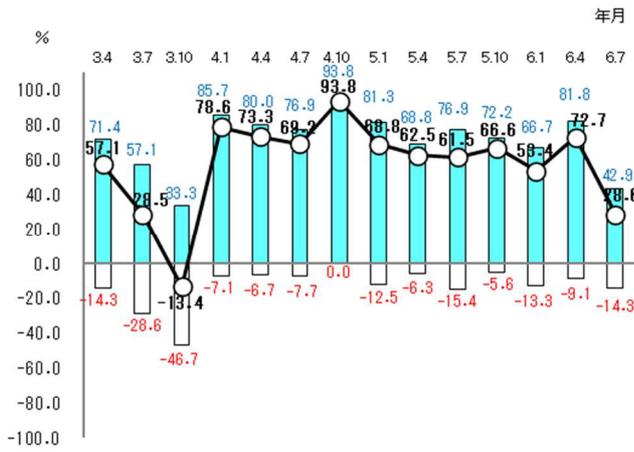


収益率

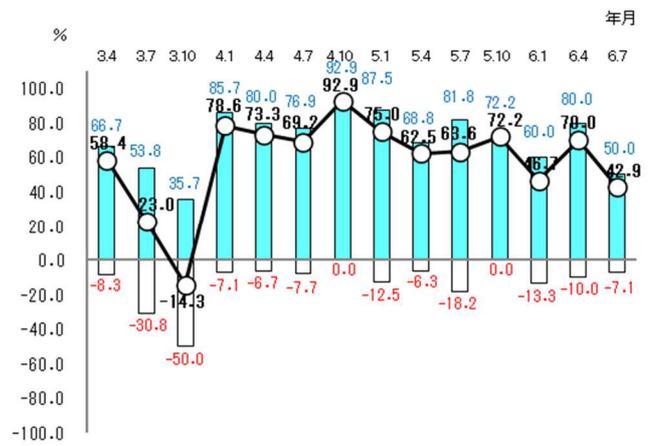


力 宿泊業

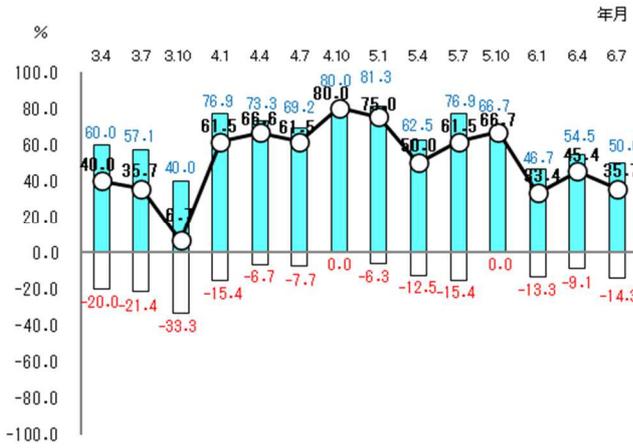
業況



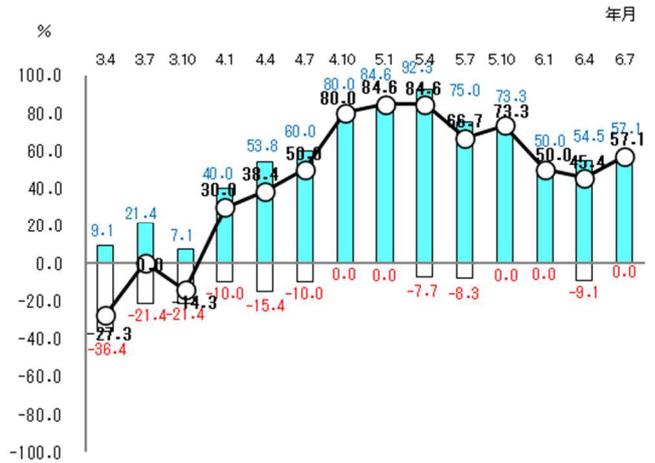
売上高



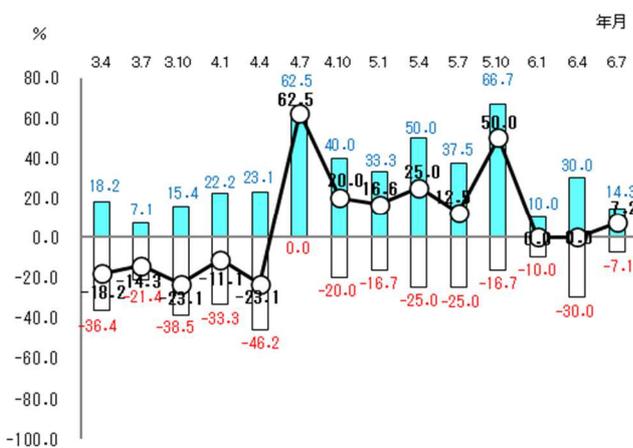
客数



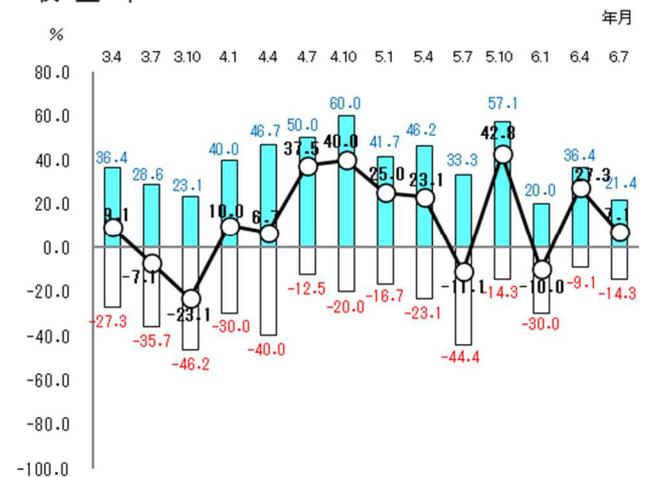
販売価格



資金繰り

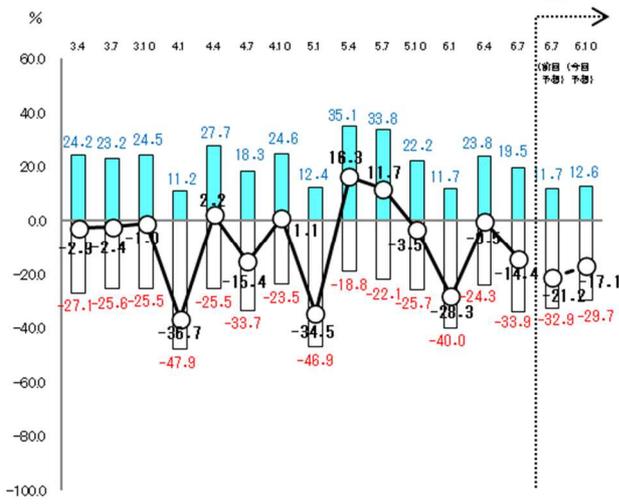


収益率

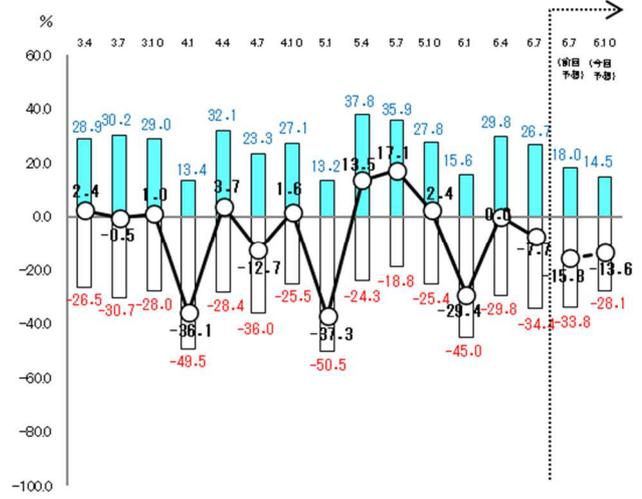


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想
非製造業全体

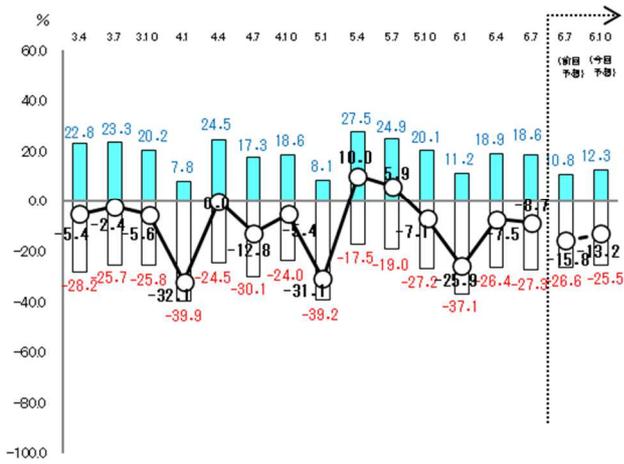
業況



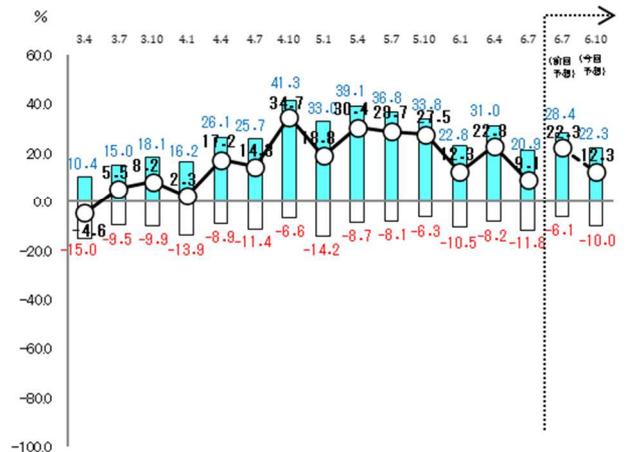
売上高



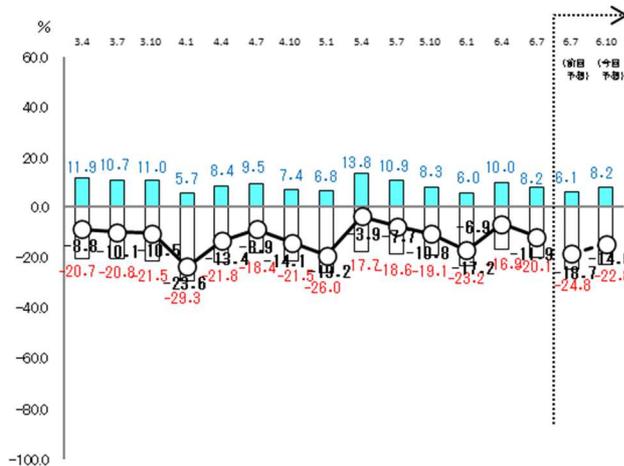
客数 (受注件数・取引先数)



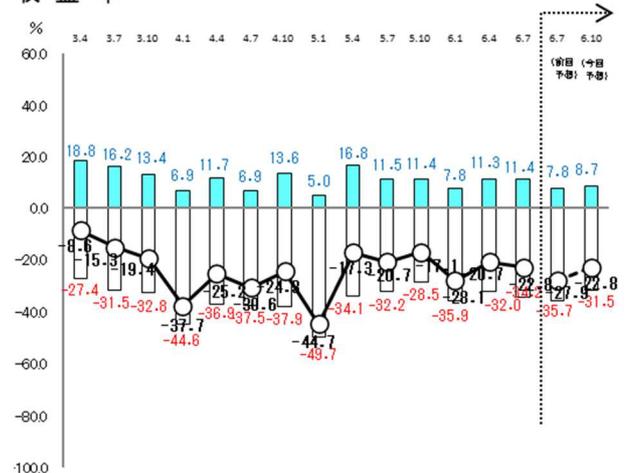
販売価格



資金繰り

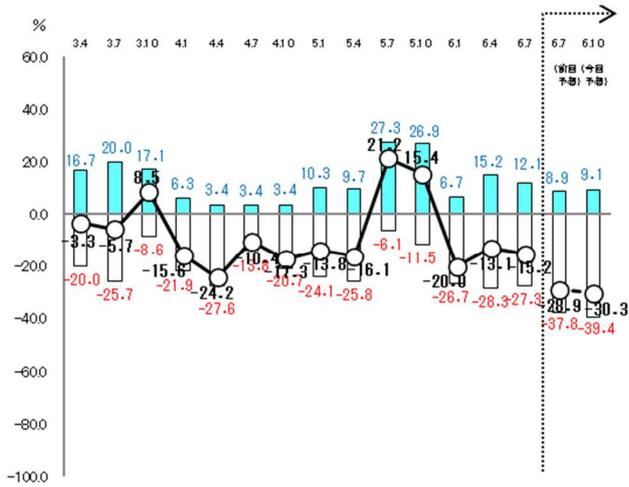


収益率

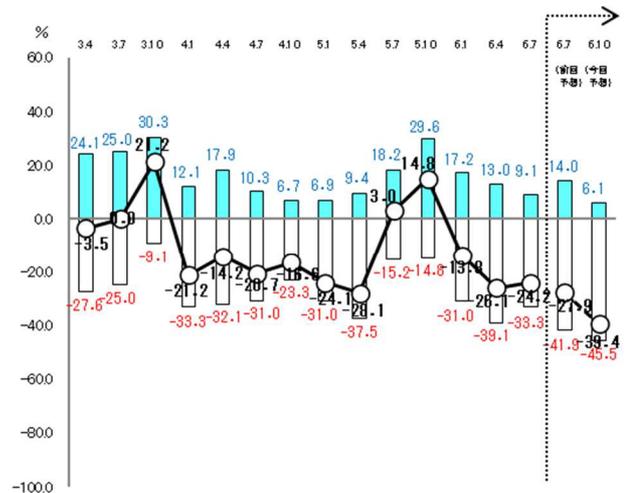


ア 建設業

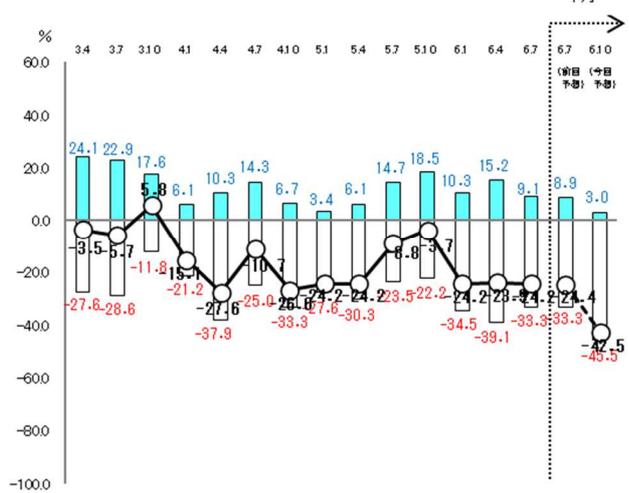
業況



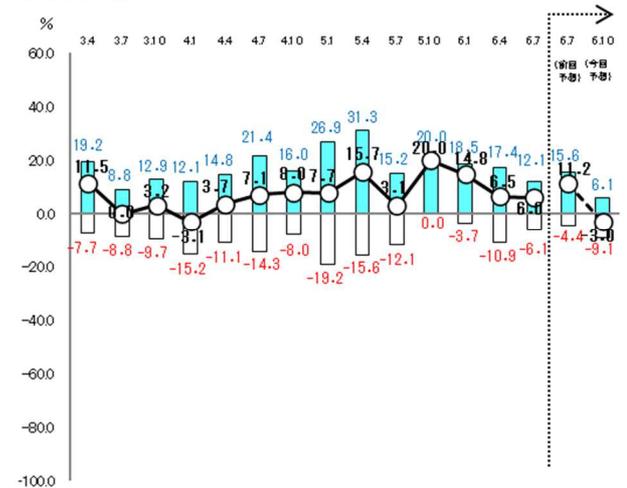
売上高



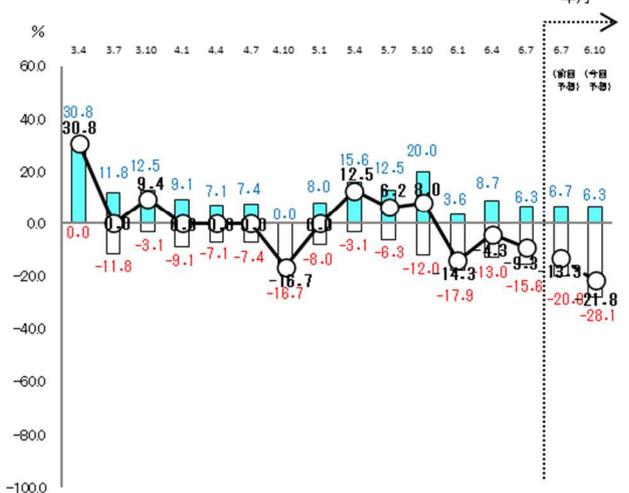
客数 (受注件数)



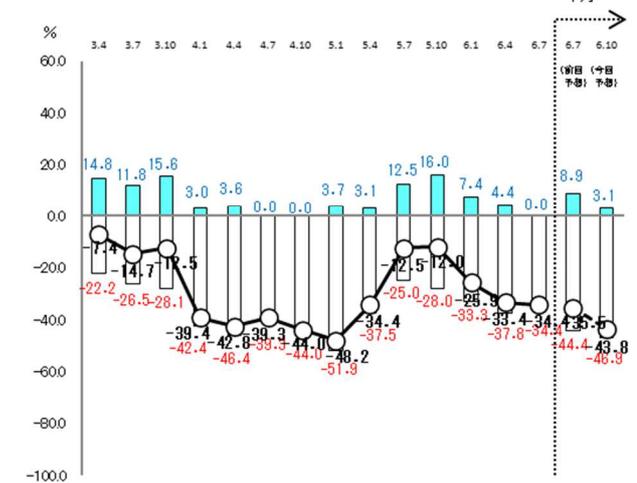
販売価格



資金繰り

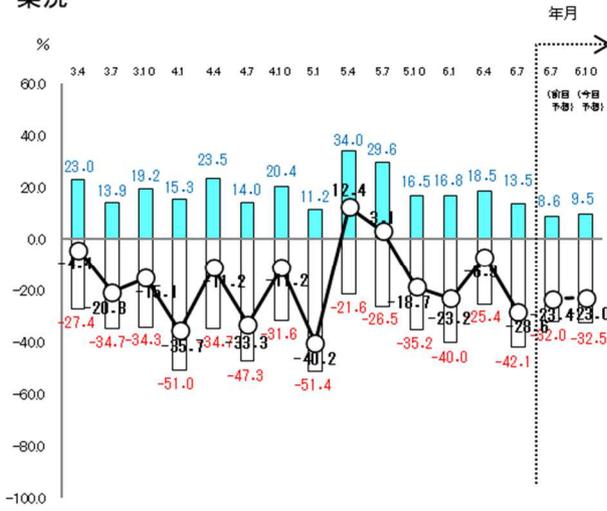


収益率

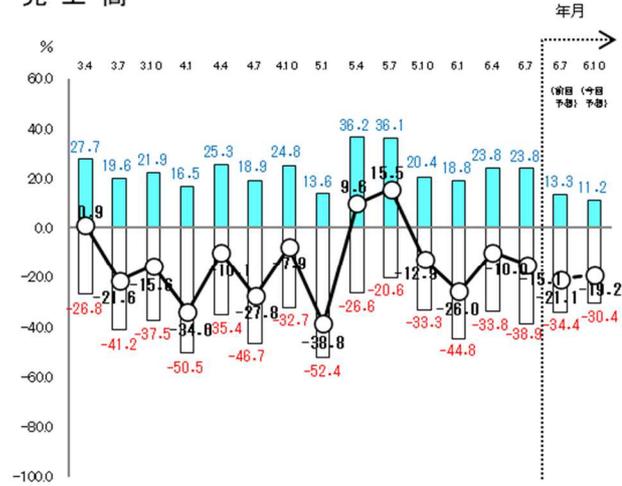


ウ 小売業

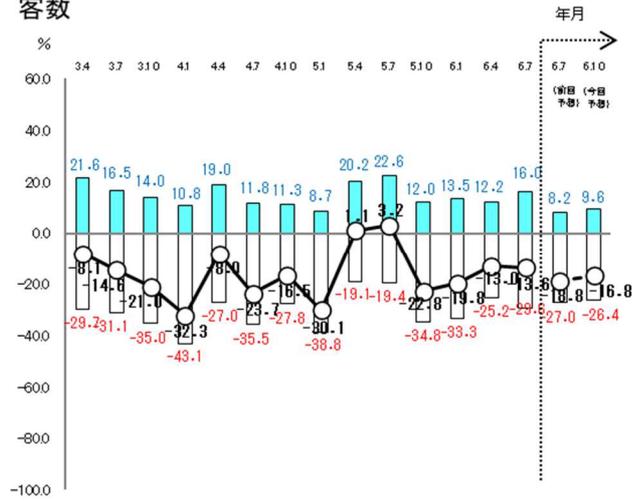
業況



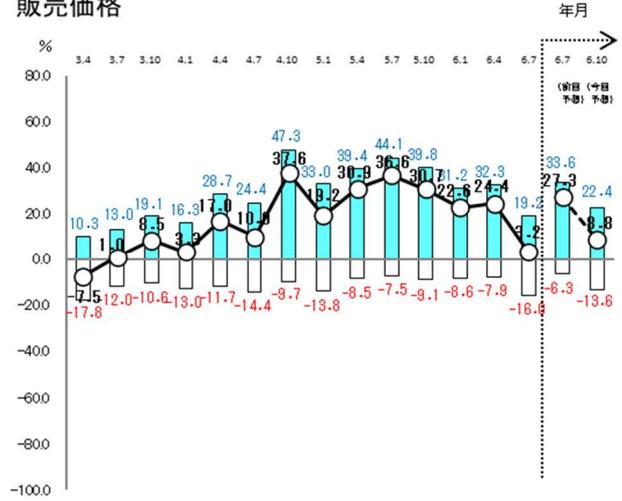
売上高



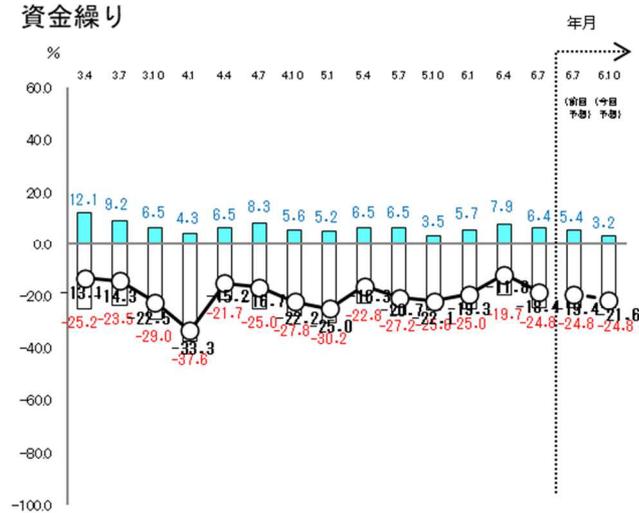
客数



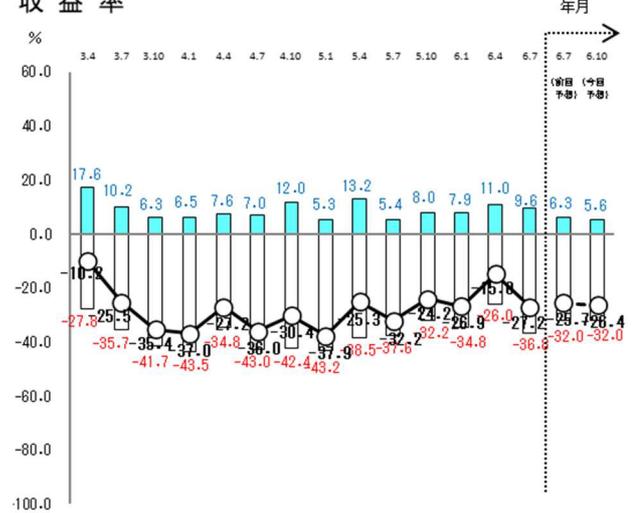
販売価格



資金繰り

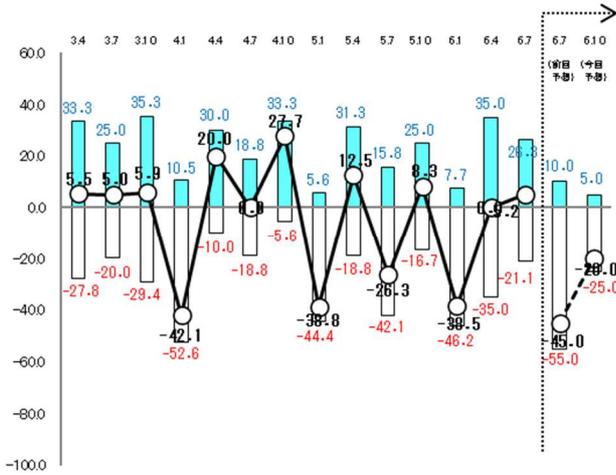


収益率

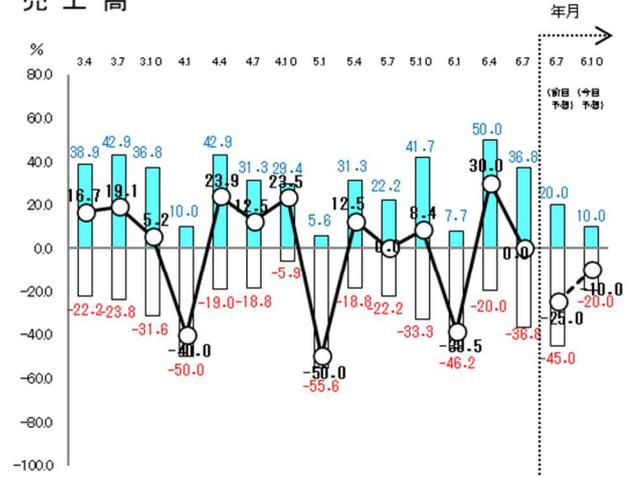


工 卸売業

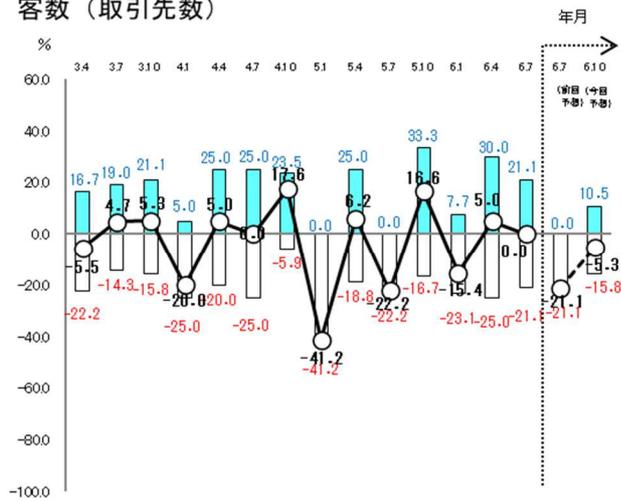
業況



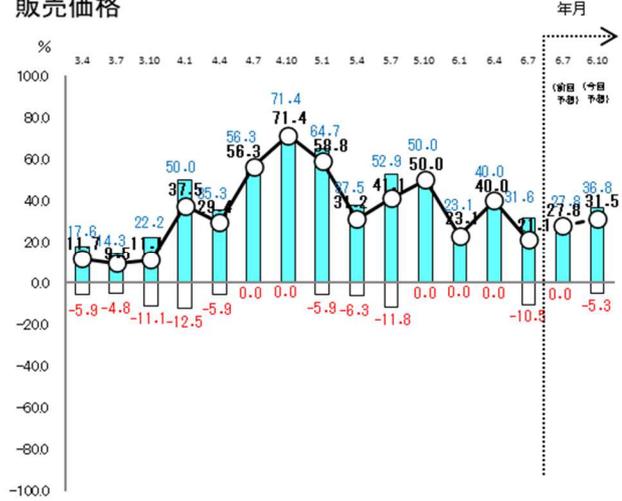
売上高



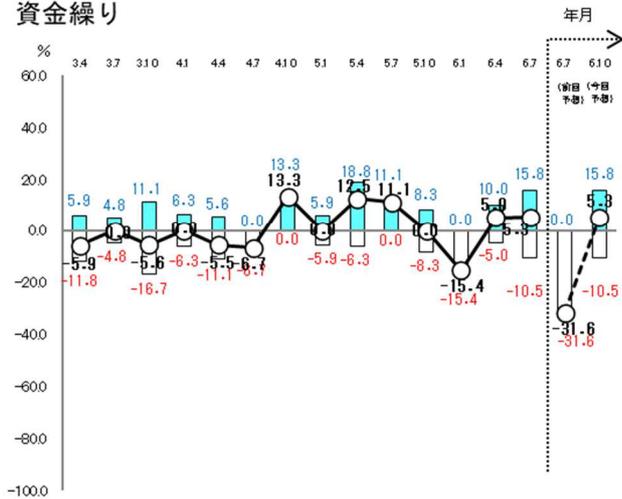
客数 (取引先数)



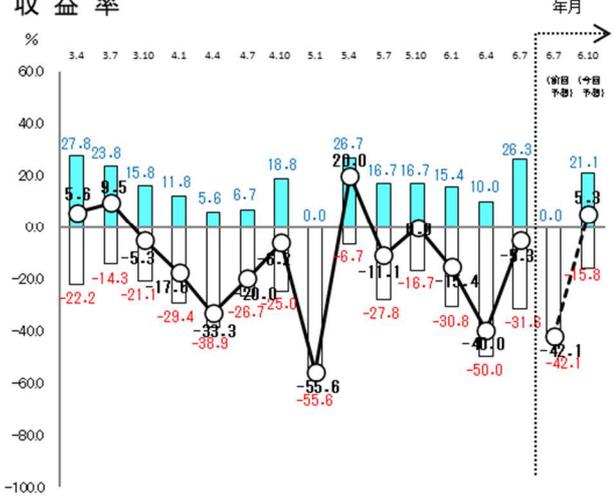
販売価格



資金繰り

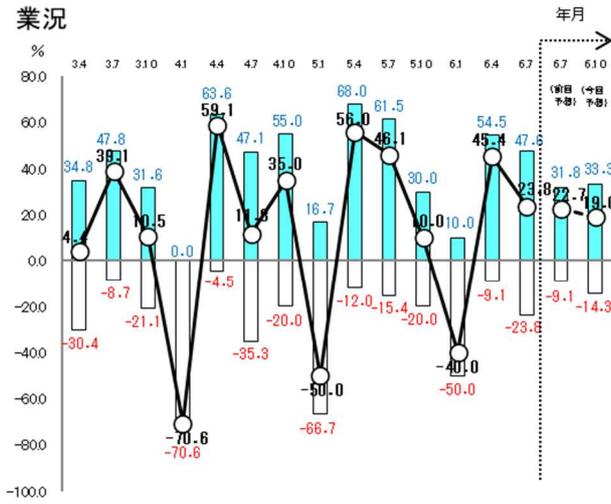


収益率

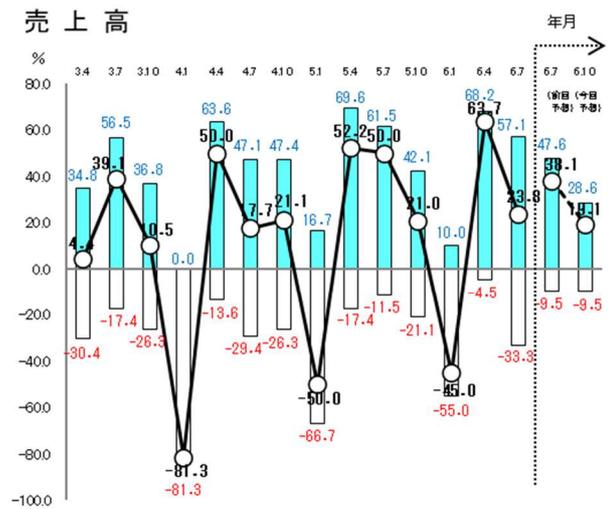


才 飲食業

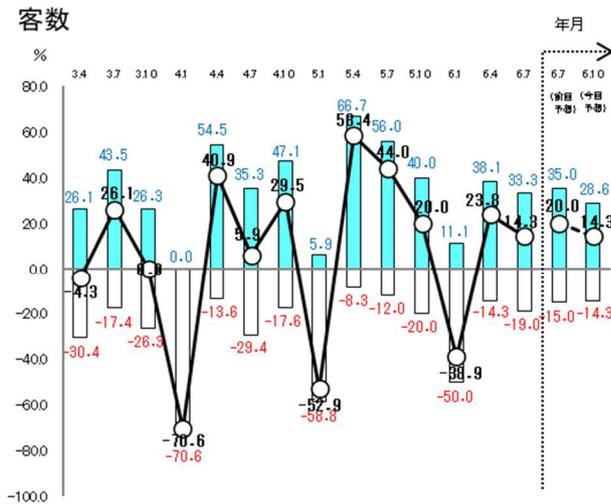
業況



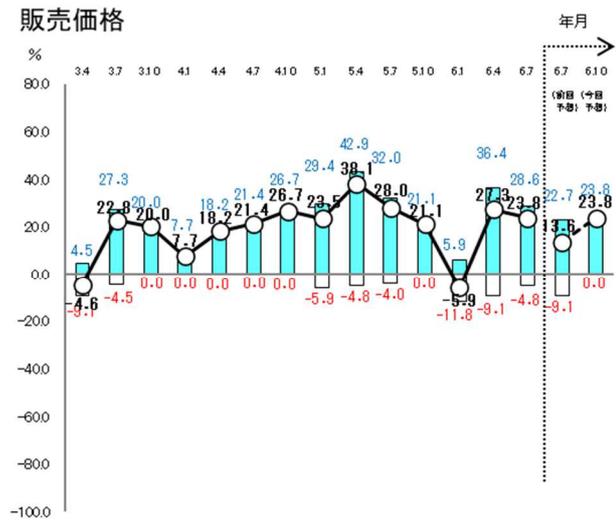
売上高



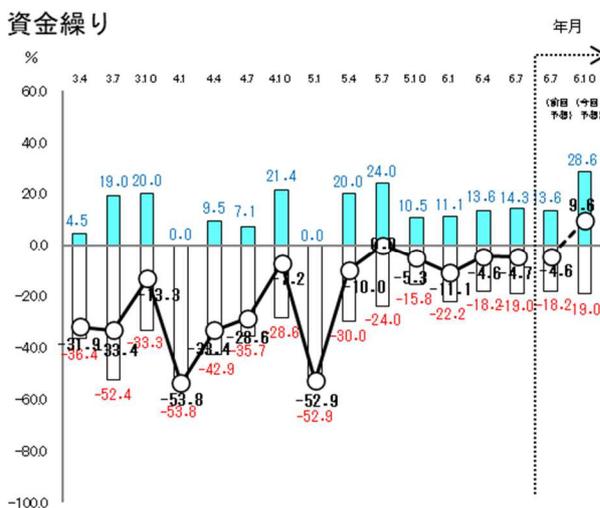
客数



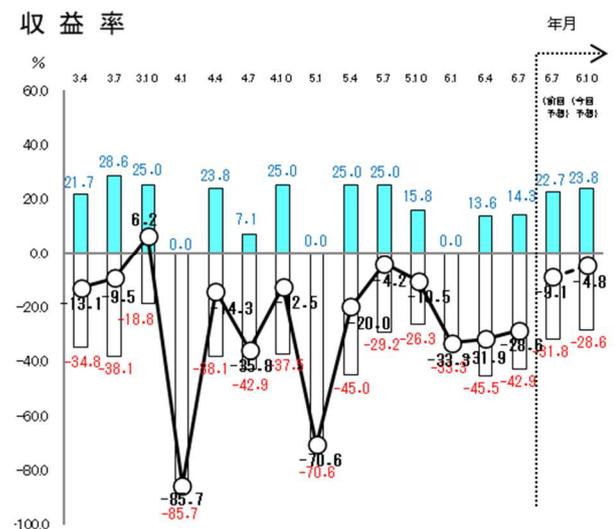
販売価格



資金繰り

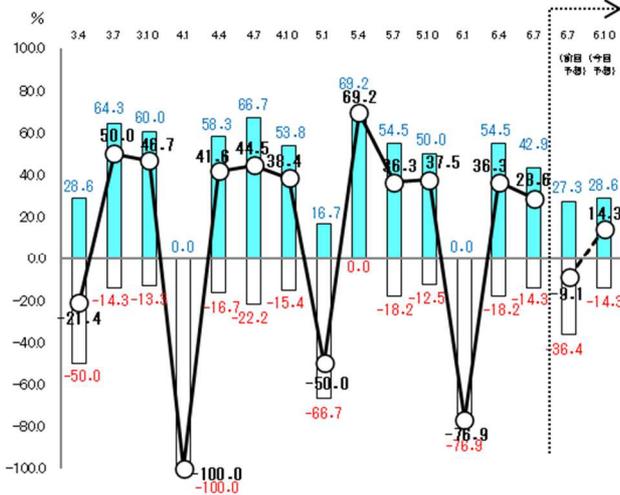


収益率

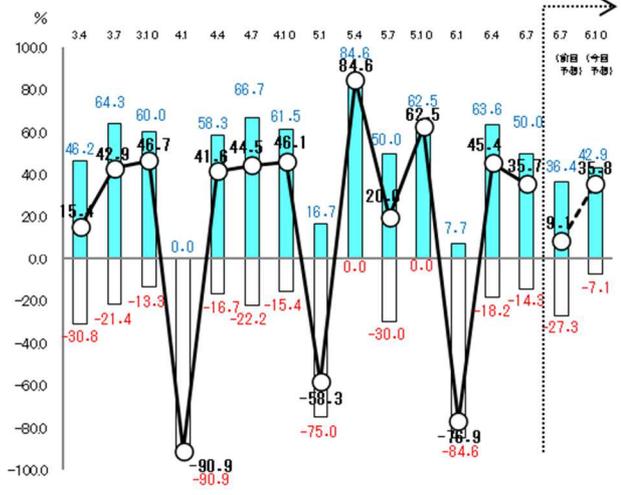


力 宿泊業

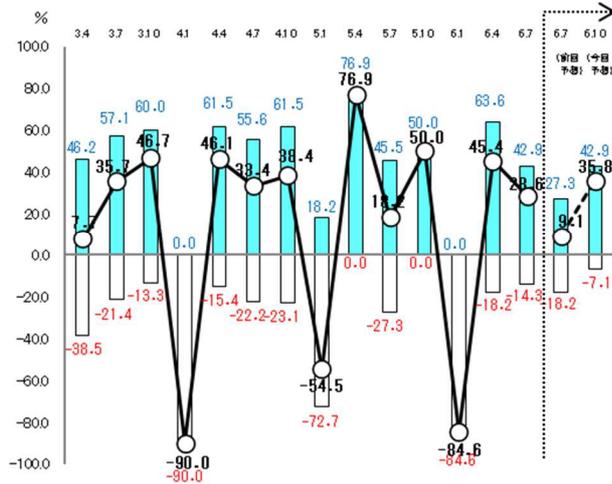
業況



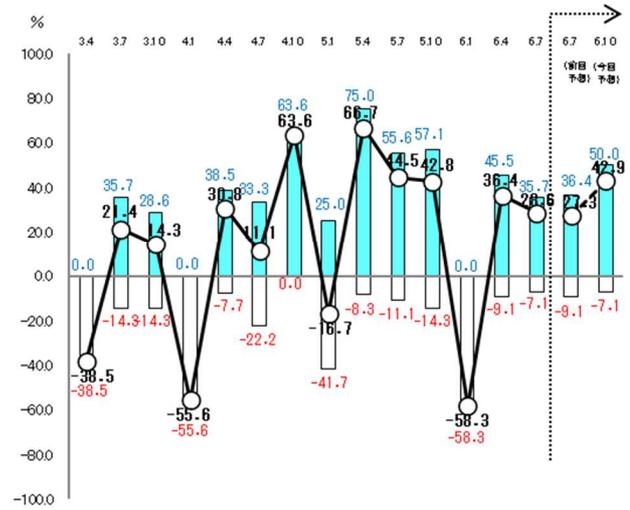
売上高



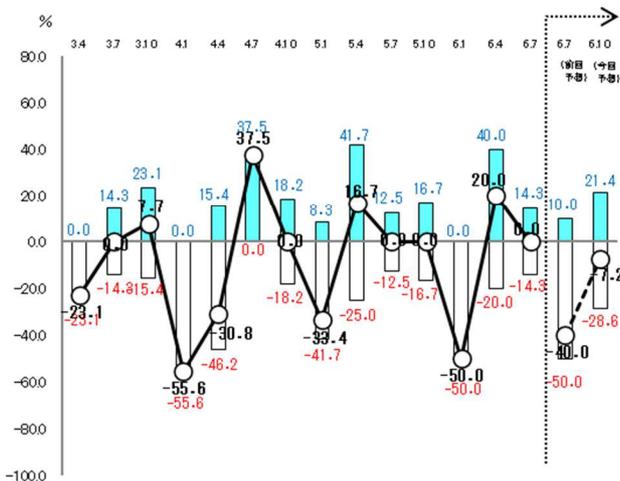
客数



販売価格



資金繰り



収益率

